

ウラジロミドリシジミ		熊本県カテゴリー 絶滅危惧 I A 類 (CR)
<i>Favonius saphirinus</i> (Staudinger, 1887)		環境省カテゴリー
		シジミチョウ科
選定理由	県内局限、分布境界、近年減少、その他（希少）	
生息環境	里山にある高原のナラガシワ・カシワ林	
生息状況	<p>県北地域、県央地域に分布している。局所的でいずれの生息地も狭く、個体数は極めて少ない。道路建設・シイタケ栽培のために食樹が伐採されている。シイタケ栽培のために伐採された場合、クヌギが植栽されることが多く、本種のナラガシワ・カシワへの依存の強さを考えると危機的状況になっている。</p>	
生存への脅威	森林伐採、人工造林、道路工事、観光開発	
特記事項	<p>分布の南限にあたる上益城郡山都町(矢部町)の生息地は非常に脆弱で、近年の記録はなく、保護策が必要である。多様性条例（指定希少野生動植物）。</p>	



撮影：田原朗敏

※「レッドデータブックくまもと2019」より抜粋
 (県ホームページ：<https://www.pref.kumamoto.jp/soshiki/52/50813.html>)